



84112-XMK -KOSO FIT WING SPOILER

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご注意

1. 開封後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式・製品色の確認を行って下さい。

〔適合車種〕 F I T DBA-GK3・4・5・6 RS・Sパッケージ除く

〔色記号〕	無限色	ホンダ色記号	色名
	PW	NH624P	プレミアムホワイト・パール
	AS	NH700M	アラバスターシルバー・メタリック
	TS	NH823M	ティンテッド・シルバー・メタリック
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	MR	R81	ミラノ・レッド
	BT	B593M	ブリリアントスポーティブルー・メタリック
	LB	YR605M	ライトベージュ・メタリック
	AY	Y72P	アトラクティブロー・パール
	PX	NH875P	プレミアムホワイト・パールⅡ
	PZ	NH883P	プラチナホワイト・パール
	ZZ	-	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T-E-C 商品事業部 商品業務課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

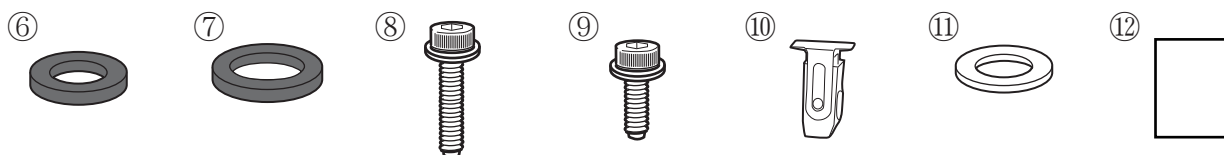
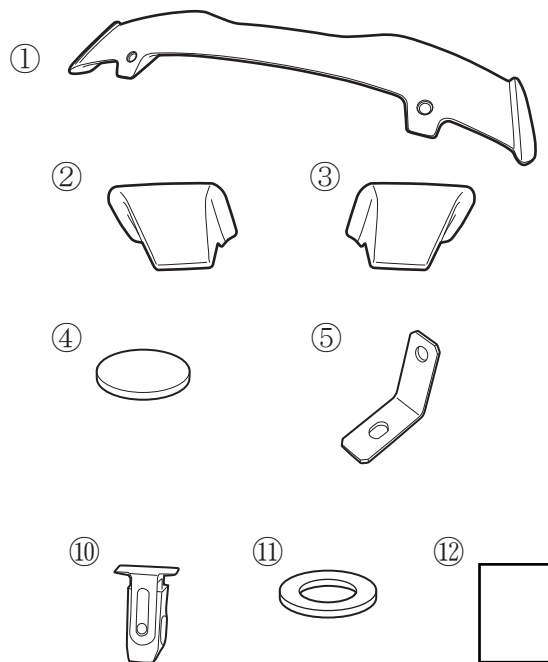
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. ウイング スポILERが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗車機での洗車は避けて下さい。ウイング スポILERに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ウイング スポイラー	1
②	ウイングカバー L	1
③	ウイングカバー R	1
④	キャップ	2
⑤	ステー	2
⑥	パッキン 小	2
⑦	パッキン 大	4
⑧	キャップボルト M6×25mm	4
⑨	キャップボルト M6×15mm	2
⑩	ターンナット	4
⑪	平ワッシャー	4
⑫	型紙	1



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑬	パッキン 大	2
⑭	クッション	1



【必要工具】

- ・六角レンチ ・ドリルφ3、φ6、φ8、φ12 ・カッター ・ハサミ
- ・イソプロピルアルコール ・ウェス ・水性ペン ・マスキングテープ
- ・タッチアップペイント

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

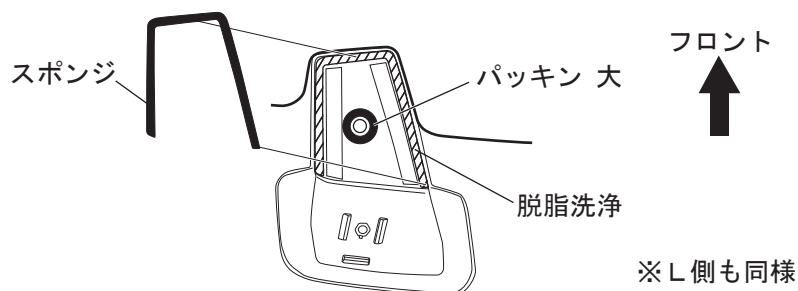
- 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意ください。
- その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
- 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液製アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

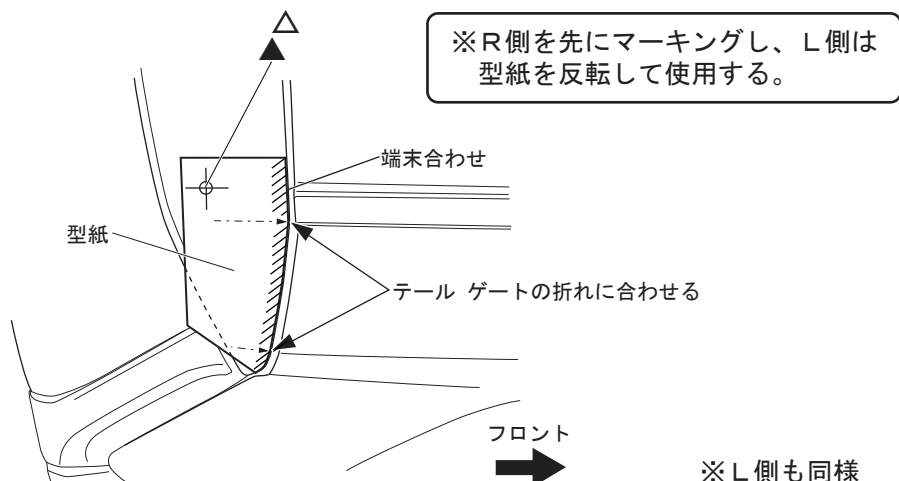
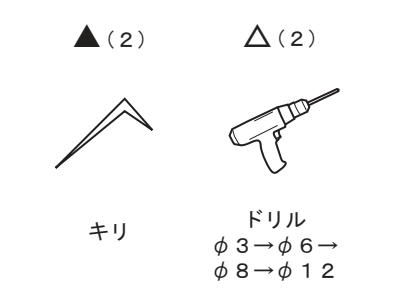
I. 取付準備

- 《注意》 ・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 ・作業は左右同様に行うこと。

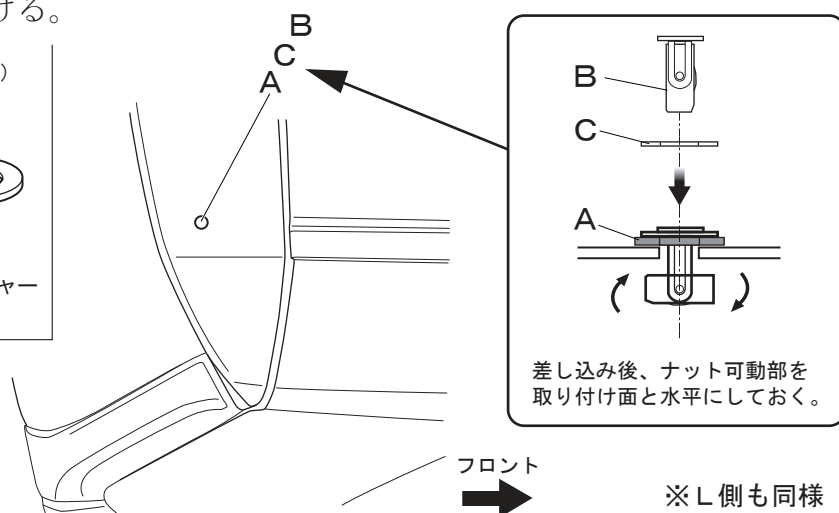
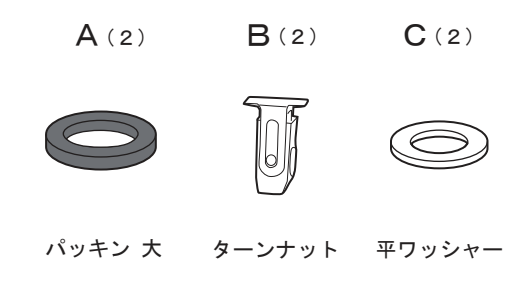
- ①未塗装品の場合は塗装後、ウイング スポイラー脚部裏面にスポンジおよび、パッキン 大を貼り付ける。（貼付け面を脱脂のこと）



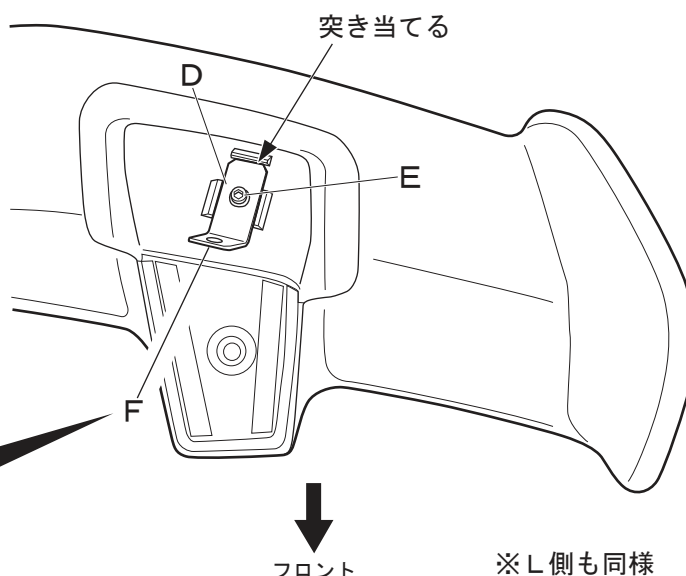
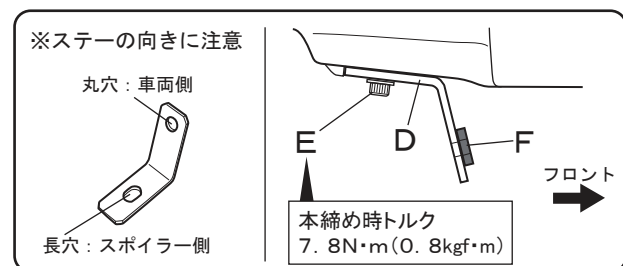
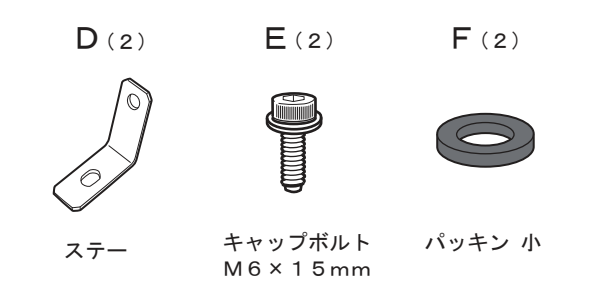
②車両テール ゲート上面に型紙を使用して穴位置をキリでマーキングし、 $\phi 12$ の穴をドリルで片側1ヶ所（左右2ヶ所）あける。（穴開け後、端末をタッチアップすること）



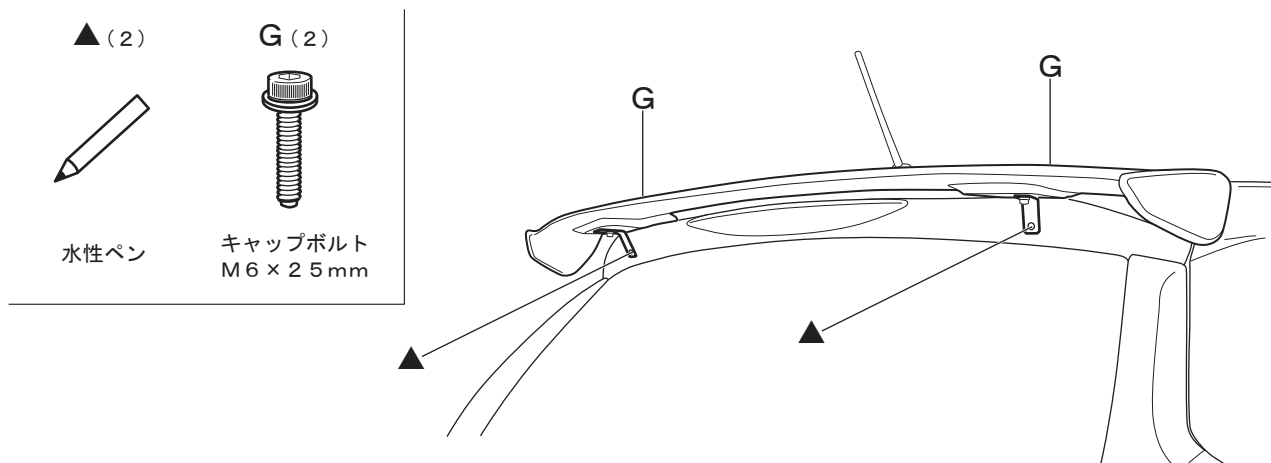
③車両テール ゲート穴周囲を脱脂洗浄後、パッキン 大 (A) を貼り、ターンナット (B)、平ワッシャー (C) を取り付ける。



④ウイング スポイラー脚部にステー (D) をキャップボルト (E) で取り付ける。更にステー (D) 車両締結面の穴周囲を脱脂洗浄後、パッキン 小 (F) を貼る。

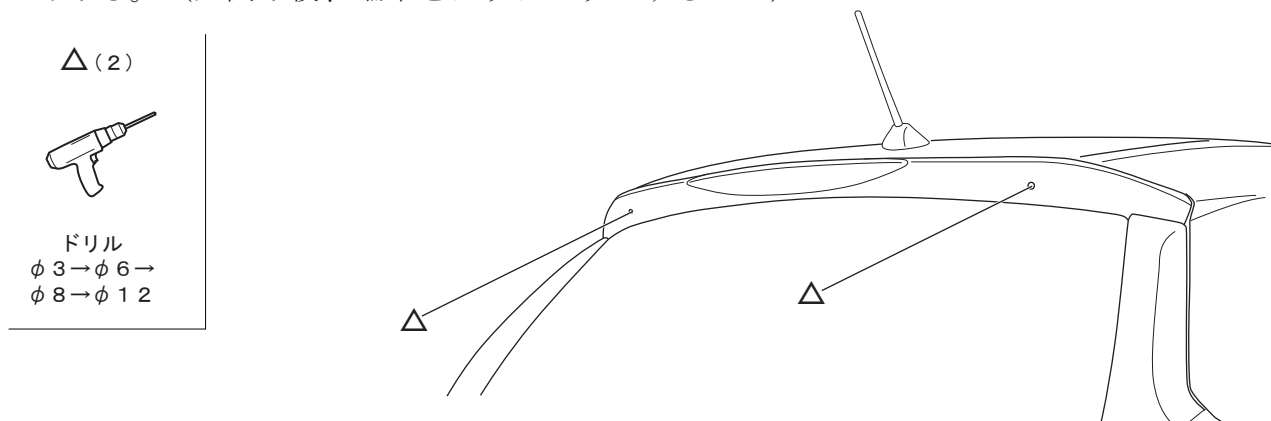


- ⑤ウイング スポイラーをキャップボルト（G）で仮固定し、ウイング スポイラーに取り付けたステー後面の取り付け穴に合わせ、車両側に水性ペンで穴位置をマーキングする。

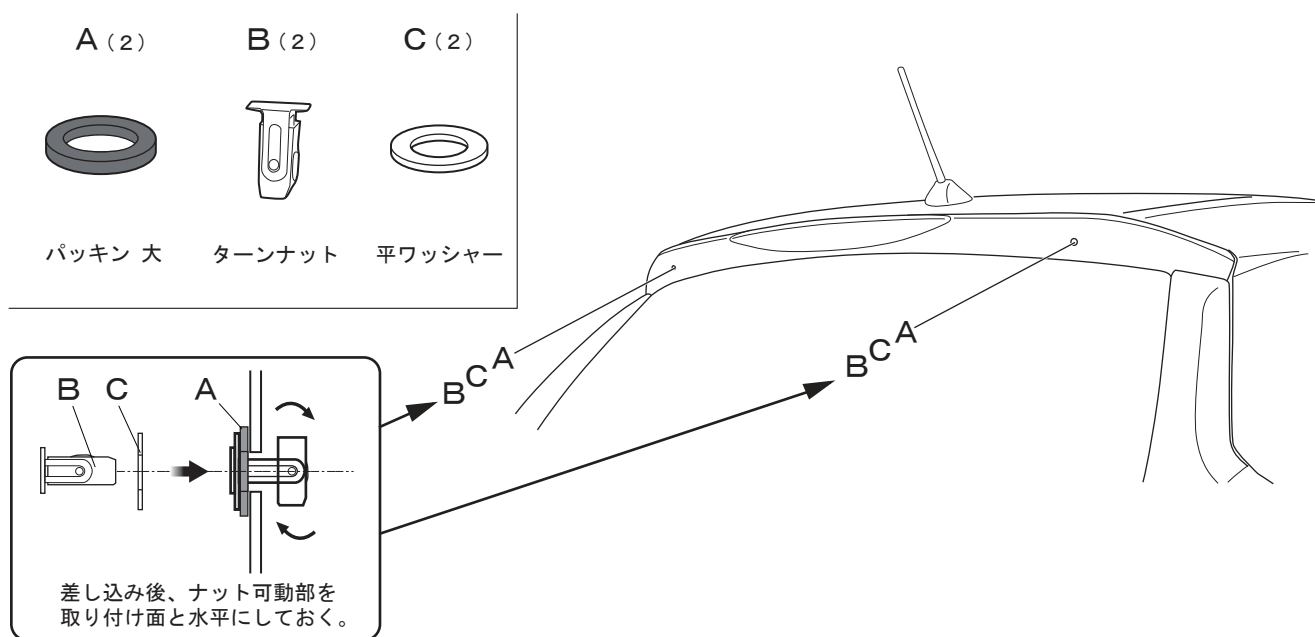


- ⑥マーキング後、ウイング スポイラーを車両から取り外す。

- ⑦車両テール ゲートのマーキング位置にφ 12の穴をドリルで片側1ヶ所（左右2ヶ所）あける。（穴開け後、端末をタッチアップすること）



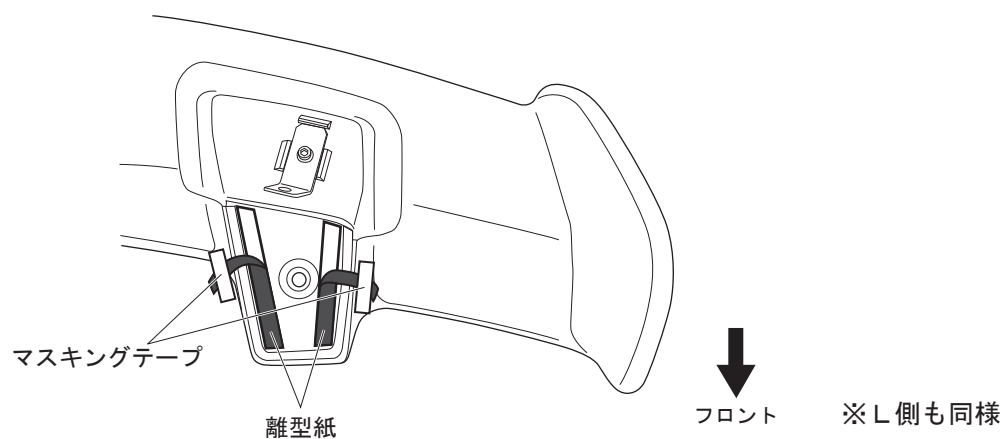
- ⑧車両テール ゲート穴周囲を脱脂洗浄後、パッキン 大（A）を貼り、ターンナット（B）、平ワッシャー（C）を取り付ける。



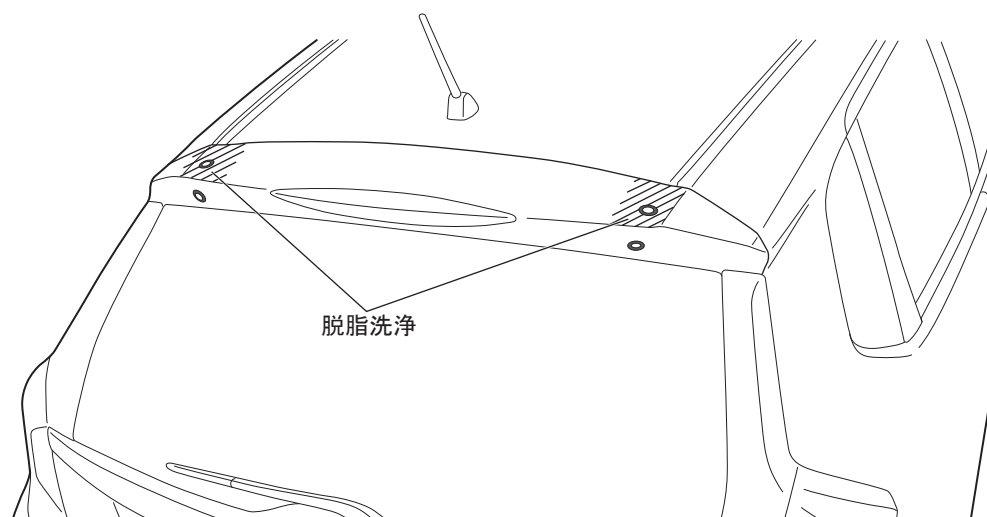
Ⅱ. ウイング スポイラーの取付

- 《注意》・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様に行うこと。

①ウイング スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表に折り返してマスキングテープで固定する。



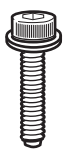
②テール ゲートの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



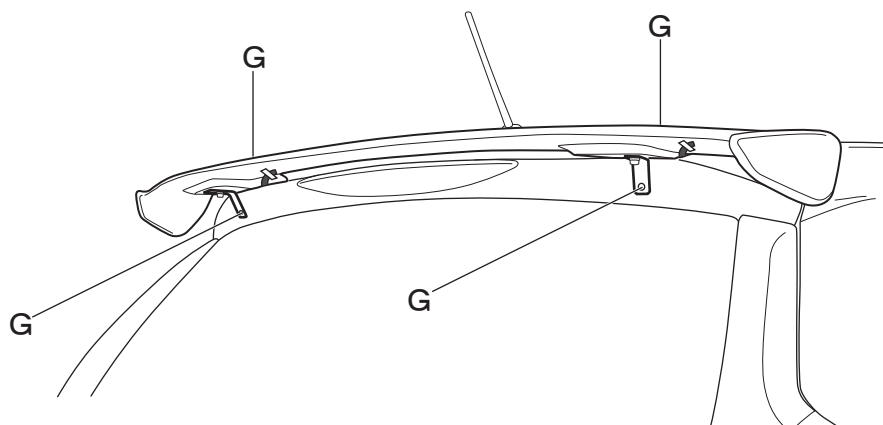
③ウイング スポイラーを車両に乗せ、キャップボルト（F）仮固定する。

※キャップボルトとターンナットが、確実にかみ合っている事を確認する。無理にねじ込むとターンナットが破損する恐れがあります。

G (4)

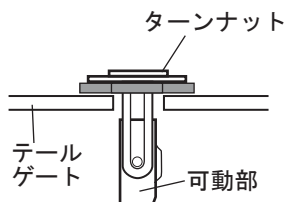


キャップボルト
M6 × 25mm

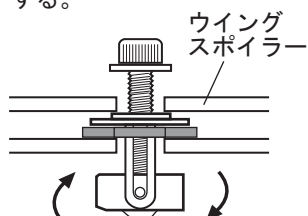


ターンナットの使い方

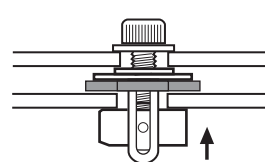
①可動部を立てたまま下穴に差し込む



②ボルトをレンチで押しながら2～3回逆転させ、そのまま正転させてボルトを軽く固定する。



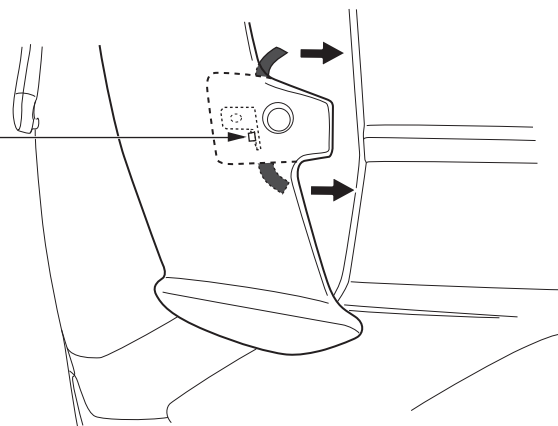
③ボルトを締め込むと可動部が引き込まれ締結される。



④ウイング スポイラーの取り付け位置を確認し、車両後面側のキャップボルトを本締めしてから離型紙を矢印の方向に引き抜く様に剥がし、圧着する。

車両後面側のキャップボルトを本締めする。

本締め時トルク
7.8N・m(0.8kgf・m)



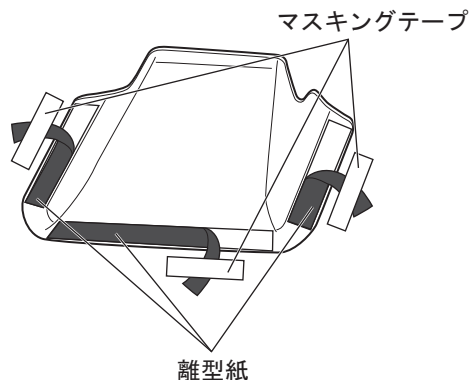
フロント
→

※L側も同様

※両面テープの圧着は十分行うこと。
圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

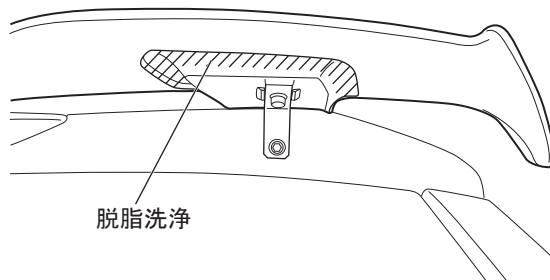
⑤車両上面側のキャップボルトを7.8N・m(0.8kgf・m)で本締めする。

- ⑥ウイングカバーの離型紙を30mmほど剥がし、表に折り返してマスキングテープで固定する。



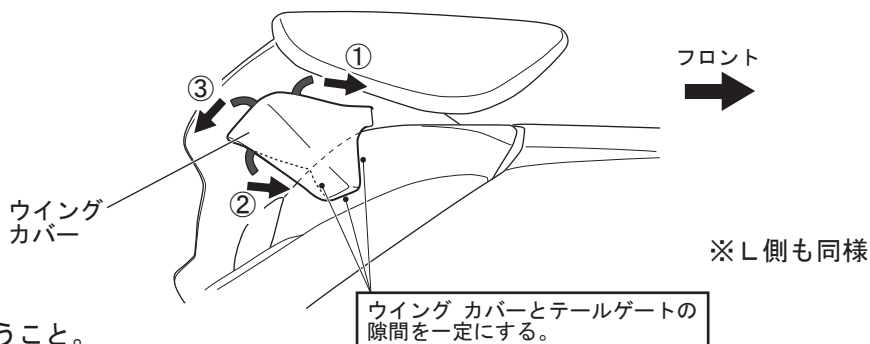
※L側も同様

- ⑦ウイング スポイラーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



※L側も同様

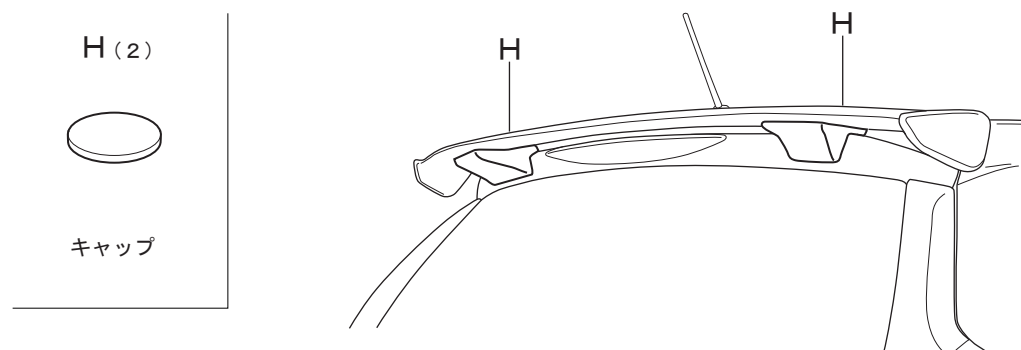
- ⑧ウイングカバーとテールゲートの隙間が一定になるように位置決めし、離型紙を下記順番で矢印の方向に引き抜く様に剥がし、圧着する。



※両面テープの圧着は十分行うこと。

圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

- ⑨ウイング スポイラーのボルト穴部を脱脂洗浄し、キャップ（H）を貼り付ける



- ⑩穴あけ作業時に発生した切り粉の清掃を行う。

- ⑪各部の取り付け状態が完全か確認する。

ウィング スポイラー位置出し用型紙

〈注意〉 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。

